

(学年) 2 学年, (教科・科目) 美術科

一斉学習

(単元) 心ひかれる風景を描こう ～遠近法を使って～

(本時のねらい)

描かれている風景の造形的なよさや美しさを感じ取り、その風景を描いた作者の表現の意図と遠近法の工夫などについて考えるとともに、透視図法の描き方を習得する。

(ICT 活用方法)

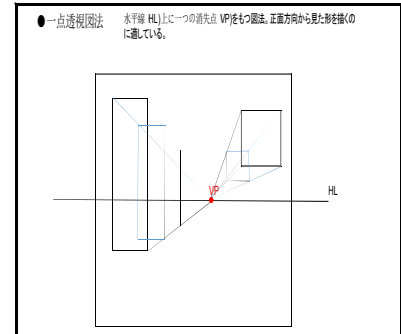
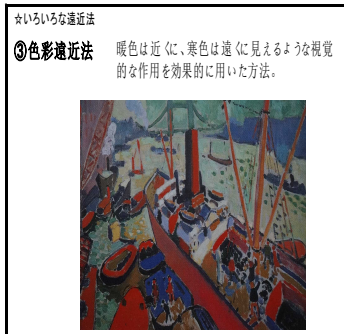
- ・遠近法の種類について、参考作品を見ながら理解をさせる。
- ・線遠近法の描き方について、プレゼンテーションソフトの画像を提示しながら説明し、実際に描かせることで、その仕組みや応用の仕方を習得する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 7分	・作家や生徒の作品を鑑賞する。	・作者のねらいや描き方で、鑑賞者の見方や感じ方が変化することに気付かせる。	・スクリーンに作品のスライドを提示する。
展開 5分	・スライドを見ながら色彩遠近法や空気遠近法、透視図法について知る。	・プレゼンテーションソフトのスライドを見せながら、作品に使われている遠近法について説明をする。 ・これからの制作に活かせる技法であることを強調する。	・スクリーンに自作のプレゼンテーションを提示する。
15分	・ワークシートに手順通りに点を打ったり、線を引いたりして一点透視図法と二点透視図法を使った図を描く。	・水平線は作者の視点であり、これが基準となることを説明する。 ・机間巡視をして、図が描けているか確認をする。	
15分	・ワークシートの風景画の中に水平線・消失点・補助線を書き込む。	・スライドで水平線や消失点を見つけるポイントを説明する。	・スライドを投影し、ポイントに注目させる。
5分	・スライドで解答を確認	・スライドで解答を見なが	・解答をスクリーンに

	する。	ら答え合わせをするように指示する。	投影する。
まとめ 3分	・本時のまとめを聞く。	・風景画を描く際に遠近法を用いて制作することを意識付けする。	

(授業の様子)



(例) 自作のプレゼンテーションの一部

(生徒の反応と課題, 改善を要する点)

自作のプレゼンテーションを利用することで、生徒は様々な遠近法の理解をし、ワークシートを使って線遠近法で描くことはスムーズにできていた。説明も効率的にできたと思う。教授資料の内容については、より分かりやすいものを考え、改善を加えていきたい。